

安芸地域アクションプランの修正

安 芸 地 域 本 部

令和5年8月31日（木）

修正項目（案）

修正前

安芸地域アクションプラン

分野

水産業

AP名 (実施地域)	No.7 芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大 (戸海市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町)
実施主体	【漁業者】◎(株)美阿丸、土佐室戸鮪軍団、室戸市定置漁業振興協議会、中芸定置網漁業振興協議会 【水産加工業者】◎(有)タカシン水産（佐喜浜工場）、◎(有)山本かまぼこ店、漁師の食卓
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	芸東地域の定置網漁獲物や近海マグロを中心に、漁業者や水産加工業者による加工品の開発・製造・販売を進め、付加価値向上・漁業所得の向上につなげる。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
(1)漁業者による加工品販売額	45万円 (H30)	63万円	70万円		300万円
(2)水産加工業者の販売額	2.5億円 (H30)	2.3億円	2.1億円		3.0億円

これまでの主な動き

<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆漁業者による加工品の製造販売 (定置網漁獲物)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低利用魚の簡易加工品試作（H26） <p>(近海マグロ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手船主を中心に結成された「土佐室戸鮪軍団」による出前授業やイベントでのPR（H29～） ・未利用部位の加工品開発（H29～R2）、道の駅や飲食店等での販売、ふるさと納税返礼品への採用（H30～） ・室戸市補助金を活用した加工場建設（R3～） ・県補助金を活用した加工機器の導入（R3～） ・高知銀行の支援事業を活用した商品開発と販路開拓（R4～） <p>◆水産加工業者による加工品の製造販売 (有)タカシン水産)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産振補助金を活用した加工場整備（H21） ・地域漁獲物を用いた加工事業の実施（H21～） ・ふるさと納税返礼品への採用（H27～） ・県補助金の活用によるHACCP取得に向けた施設整備と内製化に向けた機器整備（R2） ・ECサイト運営（R3～） 	<p>(有)山本かまぼこ店)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産振補助金（ステップアップ事業）を活用した商品開発及び新工場の基本設計事業（R2） ・県補助金活用による設備導入（R3） ・産振補助金を活用した加工場の整備検討（R3～R4） ※資材高騰等により補助事業中止 <p><主な成果></p> <p>◆マグロ内臓の加工品販売額 H29：0万円 → H30：45万円 → R元：50万円 → R2：63万円 → R3：70万円</p> <p>◆水産加工品販売額 H22：0.4億円 → H30：1.0億円 → R元：0.9億円 → R2：2.3億円 → R3：2.1億円（H30・R元は、1社のみの実績）</p> <p><課題></p> <p>◆漁業者による加工品の製造販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発やネット販売による販路拡大 ・加工場における製造・販売体制の確立 <p>◆水産加工業者による加工品の製造販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産性の向上、衛生管理体制の強化 ・建設資材等高騰による施設整備費の上昇 ・さらなる販路開拓、販売促進
---	---

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6以降
◆漁業者による加工品の製造販売	商品開発、販路拡大				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)美阿丸、土佐室戸鮪軍団、室戸市定置漁業振興協議会： 試作品づくり、製造方法等の検討、商品化の実現、商談会等への参加による販路開拓 ●県（地域本部等）： 試作品づくりへのアドバイスを得るための産振アドバイザーの活用提案、その他各種支援制度に関する情報提供、各種商談会等の紹介、関係者への橋渡し 				
	施設整備				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)美阿丸： HACCPに対応した施設整備 ●県（地域本部等）： 新事業チャレンジ支援事業費補助金の活用 				
◆水産加工業者による加工品の製造販売	近海マグロのPR				
	<ul style="list-style-type: none"> ●土佐室戸鮪軍団： 各種イベントでの「マグロ解体ショー」の実施やマグロ加工品の販売等による広報実施 				
	生産性向上と販路拡大				
◆水産加工業者による加工品の製造販売	<ul style="list-style-type: none"> ●(有)タカシン水産、(有)山本かまぼこ店、漁師の食卓： 販路開拓、商品開発、衛生管理体制の構築 ●県（地域本部等）： 各種支援制度に関する情報提供、各種商談会等の紹介、関係者への橋渡し、衛生管理に関する講習会等の紹介 				
	施設整備				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(有)山本かまぼこ店： HACCPに対応した施設整備 ●県（地域本部等）： 産振総合補助金の活用 				

AP名 (実施地域)	No.7 芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大 (室戸市、東洋町、奈半利町、田野町、安田町)
実施主体	【漁業者】◎(株)美阿丸、土佐室戸鮪軍団、室戸市定置漁業振興協議会、中芸定置網漁業振興協議会、【水産加工業者】◎(有)タカシン水産（佐喜浜工場）、◎(有)山本かまぼこ店、漁師の食卓、(株)岡水産
APへの位置づけ	H21.4月
事業概要	芸東地域の定置網漁獲物や近海マグロを中心に、漁業者や水産加工業者による加工品の開発・製造・販売を進め、付加価値向上・漁業所得の向上につなげる。

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
(1)漁業者による加工品販売額	45万円 (H30)	63万円	70万円	82万円	300万円
(2)水産加工業者の販売額	2.5億円 (H30)	2.3億円	2.1億円	2.5億円 (見込)	3.0億円

これまでの主な動き

<p><これまでの取り組みの内容></p> <p>◆漁業者による加工品の製造販売 (定置網漁獲物)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低利用魚の簡易加工品試作 (H26) <p>(近海マグロ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・若手船主を中心に結成された「土佐室戸鮪軍団」による出前授業やイベントでのPR (H29～) ・未利用部位の加工品開発 (H29～R2)、道の駅や飲食店等での販売、ふるさと納税返礼品への採用 (H30～) ・室戸市補助金を活用した加工場建設 (R3～) ・県補助金を活用した加工機器の導入 (R3～) ・高知銀行の支援事業を活用した商品開発と販路開拓 (R4～) <p>◆水産加工業者による加工品の製造販売 (有)タカシン水産)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産振補助金を活用した加工場整備 (H21) ・地域漁獲物を用いた加工事業の実施 (H21～) ・ふるさと納税返礼品への採用 (H27～) ・県補助金の活用による HACCP 取得に向けた施設整備と内製化に向けた機器整備 (R2) ・EC サイト運営 (R3～) 	<p>(有)山本かまぼこ店)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産振補助金（ステップアップ事業）を活用した商品開発及び新工場の基本設計事業 (R2) ・県補助金活用による設備導入 (R3) ・産振補助金を活用した加工場の整備検討 (R3～R4) ※資材高騰等により補助事業中止 <p><主な成果></p> <p>◆マグロ内臓の加工品販売額 H29：0万円 → H30：45万円 → R元：50万円 → R2：63万円 → R3：70万円</p> <p>◆水産加工品販売額 H22：0.4億円 → H30：1.0億円 → R元：0.9億円 → R2：2.3億円 → R3：2.1億円 (H30・R元は、1社のみの実績)</p> <p><課題></p> <p>◆漁業者による加工品の製造販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品の開発やネット販売による販路拡大 ・加工場における製造・販売体制の確立 <p>◆水産加工業者による加工品の製造販売</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産性の向上、衛生管理体制の強化 ・建設資材等高騰による施設整備費の上昇 ・さらなる販路開拓、販売促進
--	---

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
◆漁業者による加工品の製造販売	商品開発、販路拡大				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(株)美阿丸、土佐室戸鮪軍団、室戸市定置漁業振興協議会： 試作品づくり、製造方法等の検討、商品化の実現、商談会等への参加による販路開拓 ●県（地域本部等）： 試作品づくりへのアドバイスを得るための産振アドバイザーの活用提案、その他各種支援制度に関する情報提供、各種商談会等の紹介、関係者への橋渡し 				
	<p style="text-align: center;">施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ●(株)美阿丸： HACCP に対応した施設整備 ●県（地域本部等）： 新事業チャレンジ支援事業費補助金の活用 				
◆水産加工業者による加工品の製造販売	近海マグロの PR				
	<ul style="list-style-type: none"> ●土佐室戸鮪軍団： 各種イベントでの「マグロ解体ショー」の実施やマグロ加工品の販売等による広報実施 				
◆水産加工業者による加工品の製造販売	生産性向上と販路拡大				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(有)タカシン水産、(有)山本かまぼこ店、漁師の食卓： 販路開拓、商品開発、衛生管理体制の構築 ●県（地域本部等）： 各種支援制度に関する情報提供、各種商談会等の紹介、関係者への橋渡し、衛生管理に関する講習会等の紹介 				
◆水産加工業者による加工品の製造販売	施設整備				
	<ul style="list-style-type: none"> ●(有)山本かまぼこ店、(株)岡水産： HACCP に対応した施設整備 ●県（地域本部等）： 産振総合補助金の活用 				

修正項目（案）

修正前

安芸地域アクションプラン		分野	商工業
AP名 (実施地域)	No.9 キラメッセ室戸「楽市」を核とした地産地消・外商の拡大 (室戸市)		
実施主体	◎協同キラメッセ室戸(有)、◎室戸市		
APへの 位置づけ	H25.4月		
事業概要	道の駅キラメッセ室戸「楽市」を拠点とし、地域製品の充実や販売を促進するとともに、周辺施設等と連携することで、地産地消・外商及び交流人口の拡大を図る。		

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
(1)売上高	4.1億円 (H30)	3.2億円	3.43億円		4.2億円
(2)レジ通過者数	251,612人 (H30)	212,342人	223,742人		260,000人

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組み内容></p> <p>◆施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 複合経営拠点化に向けた協議会の開催 (H28～H30:11回) 各種アドバイザーの活用による売上分析、売り場づくりや動線見直しの実施 (H29～H30:4回) 直販所のレイアウト改装 (R元) <p>◆農産物の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 庭先集荷開始 (H28～) 新品目生産のための生産者説明会の開催 (H29～) 集荷日数・ルートの拡充 (H30～) 県外道の駅との連携開始 (R4～) <p>◆加工品の開発、販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ふるさと納税返礼品等の拡充 (H26～) 6次化セミナー実践コースの受講 (H28～R元:8回) 秋津野ガルテン(和歌山県)等視察 (H29) 6次化セミナーを通じて開発した商品の販売 (R元～) HACCP研修参加 (R2.10月) 県外道の駅との連携検討 (R3.10月、12月) 県外道の駅との連携開始 (R4～) 	<p><主な成果></p> <p>◆商品開発数</p> <p>H28:4品 → H30:7品 → R元:0品 → R2:0品 → R3:0品</p> <p>◆ふるさと納税返礼品の拡充</p> <p>H27:39品 → H30:92品 → R元:72品 → R2:73品</p> <p>◆ふるさと納税額</p> <p>H27:7,555万円 → H30:13,626万円 → R元:8,311万円 → R2:5,934万円 → R3:7,314万円</p> <p>◆庭先集荷した野菜等の出荷額</p> <p>H29:27万円 → H30:153万円 → R元:157万円 → R2:146万円 → R3:383万円</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> 農産物出荷者の高齢化に伴う集荷体制の強化 加工品や農産物(特に夏場)等の商品不足

第4期計画における行程表

主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
◆農産物の確保	集荷体制の強化・栽培品目の選定				
	<ul style="list-style-type: none"> ●協同キラメッセ室戸(有) : 庭先集荷の利用者数増のための説明会開催、庭先集荷ルート拡大の検討（新たな集荷ルートの開拓、集荷日数の増加、利用者増に向けた働きかけ等）、収益性のある品目の選定及び生産者の決定 ●県（地域本部等）：各種支援制度に関する情報提供、関係機関への橋渡し 				
◆加工品の開発、販路拡大	実証圃の継続		栽培品目の選定、自家栽培の検討		
	<ul style="list-style-type: none"> ●協同キラメッセ室戸(有) : 実証圃における実証栽培の継続実施 ●県（地域本部等）：農業技術の指導等 		<ul style="list-style-type: none"> ●協同キラメッセ室戸(有) : 収益性のある品目の選定、自家栽培の検討 ●室戸市 : 各種支援制度に関する情報提供、関係機関への橋渡し、周辺環境整備に向けた説明会実施（農地の選定等） ●県（地域本部等） : 各種支援制度に関する情報提供、関係機関への橋渡し 		
◆加工品の開発、販路拡大	加工品の開発、販路拡大				
	<ul style="list-style-type: none"> ●協同キラメッセ室戸(有) : 加工品の開発、ネット通販の強化、県外の道の駅等との連携によるPR強化（お互いの加工品等を他道の駅で販売等） ●室戸市 : ふるさと納税返礼品への積極的活用、各種支援制度に関する情報提供、関係機関への橋渡し ●県（地域本部等） : 各種支援制度に関する情報提供、関係機関への橋渡し 				

安芸地域アクションプラン		分野	商工業
AP名 (実施地域)	No.9 道の駅キラメッセ室戸を核とした地産地消・外商の拡大 (室戸市)		
実施主体	◎協同キラメッセ室戸(有)、◎室戸市		
APへの位置づけ	H25.4月		
事業概要	道の駅キラメッセ室戸「楽市」「食遊」を拠点とし、地域産品の充実や販売、食の提供を促進するとともに、周辺施設と連携することで、地産地消・外商及び交流人口の拡大を図る。		

指標	出発点	実績			目標
		R2	R3	R4	R5
(1)売上高※	4.1億円 (H30)	3.2億円	3.43億円	3.58億円	5億円
(2)レジ通過者※	251,612人 (H30)	212,342人	223,742人	227,297人	304,000人

※出発点及びR2～R4は「楽市」のみの実績、R5は「楽市」・「食遊」それぞれを合算した目標値を記載。

これまでの主な動き	
<p><これまでの取り組み内容></p> <p>◆施設整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複合経営拠点化に向けた協議会の開催 (H28～H30:11回) ・各種アドバイザーの活用による売上分析、売り場づくりや動線見直しの実施 (H29～H30:4回) ・直販所のレイアウト改装 (R元) <p>◆農産物の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庭先集荷開始 (H28～) ・新品目生産のための生産者説明会の開催 (H29～) ・集荷日数・ルートの拡充 (H30～) ・県外道の駅との連携開始 (R4～) <p>◆加工品の開発、販路拡大</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと納税返礼品等の拡充 (H26～) ・6次化セミナー実践コースの受講 (H28～R元:8回) ・秋津野ガルテン(和歌山県)等視察 (H29) ・6次化セミナーを通じて開発した商品の販売 (R元～) ・HACCP研修参加 (R2.10月) ・県外道の駅との連携検討 (R3.10月、12月) ・県外道の駅との連携開始 (R4～) 	<p><主な成果></p> <p>◆商品開発数</p> <p>H28:4品 → H30:7品 → R元:0品 → R2:0品 → R3:0品</p> <p>◆ふるさと納税返礼品の拡充</p> <p>H27:39品 → H30:92品 → R元:72品 → R2:73品</p> <p>◆ふるさと納税額</p> <p>H27:7,555万円 → H30:13,626万円 → R元:8,311万円 → R2:5,934万円 → R3:7,314万円</p> <p>◆庭先集荷した野菜等の出荷額</p> <p>H29:27万円 → H30:153万円 → R元:157万円 → R2:146万円 → R3:383万円</p> <p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物出荷者の高齢化に伴う集荷体制の強化 ・加工品や農産物(特に夏場)等の商品不足

第4期計画における行程表					
主な取り組み	R2	R3	R4	R5	R6 以降
◆農産物の確保	集荷体制の強化・栽培品目の選定				
	<ul style="list-style-type: none"> ●協同キラメッセ室戸(有) : 庭先集荷の利用者数増のための説明会開催、庭先集荷ルート拡大の検討（新たな集荷ルートの開拓、集荷日数の増加、利用者増に向けた働きかけ等）、収益性のある品目の選定及び生産者の決定 ●県（地域本部等）：各種支援制度に関する情報提供、関係機関への橋渡し 				
◆加工品の開発、販路拡大	実証圃の継続		栽培品目の選定、自家栽培の検討		
	<ul style="list-style-type: none"> ●協同キラメッセ室戸(有) : 実証圃における実証栽培の継続実施 ●県（地域本部等）：農業技術の指導等 		<ul style="list-style-type: none"> ●協同キラメッセ室戸(有) : 収益性のある品目の選定、自家栽培の検討 ●室戸市 : 各種支援制度に関する情報提供、関係機関への橋渡し、周辺環境整備に向けた説明会実施（農地の選定等） ●県（地域本部等） : 各種支援制度に関する情報提供、関係機関への橋渡し 		
◆レストラン「食遊」の充実に伴う地産地消・外商の推進	加工品の開発、販路拡大				
	<ul style="list-style-type: none"> ●協同キラメッセ室戸(有) : 加工品の開発、ネット通販の強化、県外の道の駅等との連携によるPR強化（お互いの加工品等を他道の駅で販売等） ●室戸市 : ふるさと納税返礼品への積極的活用、各種支援制度に関する情報提供、関係機関への橋渡し ●県（地域本部等） : 各種支援制度に関する情報提供、関係機関への橋渡し 				
◆レストラン「食遊」の充実に伴う地産地消・外商の推進	<ul style="list-style-type: none"> ●協同キラメッセ室戸(有) : 地場産品を活用したメニュー開発等による既存メニューのブラッシュアップ ●室戸市 : レストラン「食遊」のレイアウト改修 ●県（地域本部等） : 産業振興アドバイザーの活用支援、情報発信支援等 			「食遊」改修 既存メニューのブラッシュアップ	